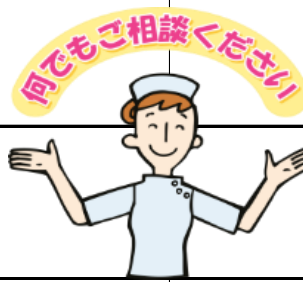


腹腔鏡併用腔式子宮全摘術を受けられる方へ

患者ID: 病棟: 主治医 担当医

氏名 受持看護師

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術の説明が分かる。		痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 体温・血圧・脈拍が安定している。			傷から血や液が出ていない。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 病棟内歩行ができる。			退院後の生活の注意点が分かる。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。	
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術後の経過や処置について説明をします。 	(主治医より)手術について説明します。 (麻酔医より)麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。  署名後、看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	 記入の必要な書類があれば、早めに提出してください。					(看護師より)退院後の生活について説明します。 (主治医より)退院後の外来受診や服薬等について説明します。
検温	 適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時1・2・3・6時間後 それ以後翌日6時まで 4時間毎(指示有り)	6時 10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時 14時	14時	14時	
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けてください。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。	尿道留置カテーテルを抜きます。歩けるようなら病棟内トイレにて排泄をします。尿量の測定を続けてください。		尿量測定は終了です。			
処置		おへそのそうじをします。 陰毛のカットをします。 夕食後浣腸があります。	 朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。	手術室より酸素を付けて帰って来ます。背中に硬膜外チューブが、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血、採尿があります。 8時に酸素投与を中止します。弾力ハイソックスを脱いでかまいません。医師の診察があります。創の消毒をします。 点滴は夕方まで持続です。	お腹のチューブを抜きます。背中に入っている痛み止めのチューブも抜きます。	採血、採尿があります。 	創部の抜糸をする場合があります。	(術後6日目)採血、採尿があります。医師の診察があります。	
準備	必要物品を購入してください。 (T字帯1枚・ナプキン)	身の回りの荷物を一つにまとめ床頭台上に、ナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。下着はパンツのみつけます。手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。							
投薬	内服している薬は続けて服用してください。寝る前に緩下剤の内服があります。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。眠れない時は眠剤内服が出来ますのでお申し出ください。 	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後は喉の痛みに対し、トローチを渡します。 	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。手術前から飲まれていたお薬をお返しします。					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。体の向きは、看護師が介助して変えます。	病棟内トイレまで歩けます。最初は看護師がそばで見守ります。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。			
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。トイレでウォッシュレットをご使用ください。		シャワー浴が開始となります。 		

腹腔鏡下手術（嚢腫核出術・付属器切除術・筋腫核出術・子宮内膜症病巣除去術・癒着剥離術・子宮外妊娠術）を受けられる方へ

患者ID: 病棟: 主治医: 担当医:

氏名: 受持看護師:

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	退院前日	退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術についてわかる。				お腹の管から出る液の色や量が正常である。 傷から血や液が出ていない。病棟内歩行が出来る。 痛み止めを使って痛みをやわらげます。			傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 退院後の生活の注意点がわかる。		
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	(主治医より) 手術について説明します。 (麻酔医より) 麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。署名後、看護師にご提出ください。 	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	 記入の必要な書類があれば、早めに提出してください。			(看護師より) 退院後の生活について説明します。 (主治医より) 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。		
検温	 適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1・2・3・6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎(指示有り)	6時 10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	14時	14時	
排泄	尿量測定を始めます。		尿量測定を続けてください。	手術中、尿道にカテーテルを入れます。	カテーテルを抜きます。 歩けるようなら病棟内トイレにて排泄をします。 尿量測定を続けてください。			尿量測定は終了です。		
処置		お臍のそうじをします。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります	酸素を付けて帰室します。 背中に硬膜外チューブ、お腹にドレーンの付く場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続します。	採血、採尿があります。 8時、酸素投与が中止です。 弾力ハイソックスを脱ぎます。 医師の診察があり、創の消毒をします。 点滴は夕方まで持続です。	お腹のチューブを抜きます。 背中に入っている痛み止めのチューブも抜きます。	採血、採尿があります。 	創部の抜糸をする場合があります。 医師が診察します。		
準備	必要物品を購入してください。 (T字帯1枚 ・ ナプキン)	身の回りの荷物を一つにまとめ床頭台上に、ナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。					 何でもご相談ください!		
投薬	内服している薬は続けて服用してください。 眠前に緩下剤を内服します。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。 	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服のある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡します。	手術前から飲まれていたお薬をお返しします。					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは看護師が介助して変えます。	病棟内トイレまで歩けます。 最初は看護師がそばで見守ります。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。			
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従って下さい。		朝から水分開始、昼からは重湯が開始になります。 	朝・昼が5分粥、夕からは全粥になります。 	昼から普通食になります。			
清潔	入浴可能です。				体を拭いてお下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。トイレでウォッシュレットをご使用ください。	シャワー浴開始です。 			